

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年11月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104050
法人名	有限会社 たすけあい鹿児島
事業所名	グループホーム 中山の里
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5933番地 (電話) 099-266-0003
自己評価作成日	平成28年10月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様の個性、状況に合わせきめ細やかなまごころ介護に取り組み常に入居者様中心の生活を大切にしています。人生の先輩として尊敬、共に学び穏かな生活が送られるように支援しています。介護福祉士7名安全を守ります
- ・入居者様の健康生活を守る為経験豊富な看護師配置、医療面予防面で機能発揮入居者様が健康で長生きできるように日々観察、安心が有ります。
- ・入居者様の最大の楽しみは毎日の食事、季節の旬の物を取り入れ春は竹の子等入った散らし寿司など等、調理師2名お手伝い出来る入居者様と365日手作り
- ・個別処遇で美味しい物を食べたり行きたい所に行ける個別処遇週間あります。皆さん楽しみに食べたい物や行きたい所を吟味しながら待っています。
- ・可愛い子猫が迷い込み皆さんと仲良しになりました。地域猫として病院管理1階のベランダで悠々と過ごしております。入居者様、職員共々癒され毎日の生活に張り合いが出てきました。名前は中山里ちゃん、呼ぶと返事をします
- ・同じ敷地内に有料老人ホーム2棟あり、他の利用者様との交流も出来る様に配慮しております。この地域は福祉施設も多く有りほかの事業所様との交流も盛んに行われ入居者様と職員で社会勉強中です。
- ・地域と共に道路清掃、地域の夏祭り参加、この地に中山の里が有る事を大いにアピール、地域の方もたすけあい鹿児島が在るから災害時も安心ですと力強い言葉を頂きました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは2階建ての2ユニットで、利用者の自由な往来と職員の相互支援体制によりホーム全体が馴染みの関係となっている。同一敷地内の有料老人ホームや近隣のグループホームとの交流、学生の実習及びボランティア受け入れなど、ホーム以外の交流にも積極的に取り組んでいる。
- ・ホームに看護師を配置し、日常の健康管理及び協力医等とのスムーズな情報交換などをを行い、健康・医療面で利用者・家族が安心して過ごせるよう配慮している。
- ・ホーム全体の行事以外に個別処遇週間を設けて利用者各自の食べたいものや行きたい所等の希望に沿って対応している。外出も福祉バスを借りて、日頃行けない遠方までドライブしている。
- ・職員のケアのレベルアップを図るために研修や受講等を推進し資格取得を支援している。職員の負担を軽減しケアに専念できるよう調理員を配置したり、適性に応じた社内異動を行う等、職場環境整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○理念の共有と実践 <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>○理念に地域の中で普通の暮らしを送ります。と有り地域との共生を大切にしている。毎週月曜日に理念を斎唱、気持を新たに日々仕事に取り組んでいます。</p>	<p>ホールにおいて、月曜日に全員で理念を唱和している。ミーティングで理念について話し合い、日常の中でも常に「理念」を振り返り、確認している。</p>	
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所と地域とのつきあい <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>○高校生の実習や保育園児との交流、ボランティアの受け入れや域清掃活動にも参加、日々の挨拶など地域住民との交流が出来ている。</p>	<p>自治会の清掃活動に参加したり近くのゴミステーションの清掃をしている。保育園児がクリスマス会や敬老会の時に来訪し交流している。中学生や高校生の職場体験学習及びサマーボランティア等の受け入れやホーム行事への住民参加等で地域との交流に努めている。</p>	
3		<ul style="list-style-type: none"> ○事業所の力を生かした地域貢献 <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>○事業所は地域の高齢者を把握しており地域の皆様がいつでも訪問できるように支援している。地域の皆様もたすけあい鹿児島が有るから安心して生活できると言われています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	○奇数月第3金土曜日を設定、利用者の日常生活状況や行事報告委員より様々な意見を頂き日々のサービスに生かし議事録はご家族に送付職員間でも回覧全員共有している。	会議は年間計画に組み込み定期的に開催している。外部評価の報告や日常のホームの活動・利用者の状況・ヒヤリハット等を報告し、出された意見はサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	○介護相談員6月に2人来所、利用者様の相談に乗って頂いた。福祉事務所の方も年に数回来所又プラン持参や折々に訪問して困難事例など相談協力関係を築く様していく。	市の支所に出向いて、日常困っていることや申請書類などを持参し、報告や相談を行い協力関係を築いている。市主催の研修に参加し情報交換に努めている。市の相談員の受け入れも行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○職員は研修会に参加し拘束による精神的な苦痛や弊害を理解しており開設以来拘束はしていない。今後も拘束しない施設を続けます。	身体拘束廃止委員会が中心になり勉強会を開催し、質の向上につなげている。言葉の拘束も含めて研鑽し職員の理解を深めている。日中、玄関の鍵はせずに自由に入り出しができる。外に出ていく利用者には職員の目配りで対応し、職員が一緒に近所を散歩する等、自由な生活を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	○職員は外部内部研修で高齢者虐待防止法を学び虐待をしない事を前提に取り組んでいる。、身体的な事のみでなく日常の言葉【言葉の暴力】使いにも職員同士でお互いに注意しています。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	○利用者の権利、家族の権利やグループホームの倫理要綱については見やすい場所に掲示しており勉強会等で話している。現在成年後見制度利用者様2人有り			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	○重要事項説明書の丁寧な説明、医療連携体制（居宅療養管理指導による往診など）や支払い金額に関する事など不安の無いように納得、理解して頂き契約を締結している。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	○相談窓口を設け相談出来る体制がある。季節ごとの便りに事故報告、出来事など掲載して細部にわたり報告している。運営推進会議など外部にも報告ご家族の意見入居者の意見なども運営に反映している。	利用者からは日常生活の中で、意見を汲み取ったり、介護相談員との面談の機会を作つて思いを聞いている。家族からは、年2回の家族会及び運営推進会議で意見等を出してもらったり、面会時に職員から声かけして近況報告等を行うと共に要望等を聞き、対応に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>○毎月の職員会議、処遇会議や勉強会等の場での自由な意見や提案を聞き業務改善に向けて努力反映できる環境が出来ている。</p>	<p>毎月の全体職員会議や日々のミーティングで気軽に意見が出され、日常的にも管理者に気軽に相談できる環境にある。ケアへの取り組みや物品購入などの要望があり意見は反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>○代表者は管理者、職員個々の勤務実績努力を把握しており資格取得も積極的に応援、資格手当等もあり定時就業、定時終業も確実に出来て働き易い環境にある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>○職員の資格取得などは勤務調整して研修を受ける機会を作り参加出来る。</p> <p>年間計画の中に研修が組み込まれおり内外研修に参加して学習し、職員会議で報告している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>○県・市グループホーム協会に加入、近隣には数ヶ所のグループホームがありお互いに支えたり支え合って互助精神が出来ておりサービスの質の向上につながっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価
			実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	○相談申し込みの時点でご家族、本人様と面会。切迫した状況の相談がほとんどで、困っていること等を伺い不安の訴えには出来るだけ納得いくように対応、安心出来る様に努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	○見学来訪時にはご家族の求めている事、不安、日常生活の困りごと等ゆっくり話を伺い家族の安心感を得られるよう努めている。1階は特に車椅子を重視して入居をお勧めしている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○相談来訪時は切羽詰まった状況グループホームに空きが無い場合は隣の老人ホームの紹介、他事業所への情報提供もしています。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	○年間を通じ様々な行事などあり行事食など一緒に作り行事の由来などを教えて頂きながら家族には代われないが気持ちは家族のつもりで接して居ます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>○ご家族は入居者の生活に欠かせない大切なメンバーで有ることを常々伝えている。面会時の素晴らしい笑顔と安堵の表情に職員は安心します。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>○入居前からお付き合いのあった方との外食やスポーツ大会参加、法事や結婚式、墓参り参加家族やなじみの方と本当に楽しく人生を謳歌、訪問時はゆっくりお茶を飲んで頂きます。</p>	<p>知人や親戚・家族の面会が多い。家族の協力を得ながら行きつけの美容院や墓参りなどへ出かけている。年賀状作成及び電話の取り次ぎ・本人の希望する買い物や外食など、入居前の関係が継続できるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>○職員は利用者の不安な気持ちをしっかりと受け止め基本理念に（仲良く楽しく暮らせるお手伝いをします）添い孤立しないで支え合うように努めています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>○グループホームから特養に行かれた方や病院に入院された方には利用者様と一緒に見舞いに行ったり、ご家族には引き続き相談や支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>○職員は利用者の視点に立ちこれまでの生活習慣など理解し要望や思いを日々の会話の中から引き出し生活に役立てている。会話の出来ない方は表情などで察して支援。</p>	<p>利用者との日常の会話の中で個々の思いや意向を把握するよう努めており、過去の履歴も参考にしている。会話等が困難な場合は、表情や仕草から推察している。把握した情報は支援記録で職員の共有化を図り、本人中心の支援を行っている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>○日々の会話の中でそれとなくどの様な暮らしをされていたか聞いたりしますが過去の事には触れたくないと言われる方もいます。一番充実していた頃の話題から話しやすい雰囲気を作る</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>○毎日の記録、引き継ぎ等から心身の状態活動状況生活リズムを総合的に把握している。毎日の状態の記録も行なっている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>○入居前の生活習慣、これまでの病歴、食事の事等、ご家族・主治医・職員の意見を反映しながら利用者本位のより良い暮らしにつながる様に介護計画を作っている。</p>	<p>家族の面会時に要望等をケアマネジャーが聴きとり、本人の思いと併せて職員会議で検討し介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し6ヶ月毎に見直している。状況変化時等には、その都度現状に即した計画の見直しを行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>○日々の記録、引き継ぎで状態把握に努め変化が有れば話し合い健康記録やケアチェック表と合わせ職員間で情報を共有、計画や見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>○本人や家族の意向を大切にして必要に応じて対応している。家族に代わる受診同行や外出援助、訪問理容、歯科往診、マッサージ、選挙送り迎えなど</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>○地域のタクシー利用、近隣のソーメン流し利用、外食事のレストラン利用、高校生の訪問など有りなじみの関係が出来ており暮らしを楽しむことを支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>○利用者ご家族の希望する医療機関で継続受診をしています。居宅療養管理指導で定期的な往診を受けています。基本的には受診や通院はご家族ですが緊急時など職員で対応します。</p>	<p>利用者・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホームの看護師による健康管理及び2週に1回の往診の機会があり、緊急時は職員対応で適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援。</p>	<p>○経験豊富な看護師を配置、日常の健康管理に取り組んでいる。往診時の看護師も協力関係にあり専門性が発揮出来ており介護職との連携も良好。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>○管理者、介護支援専門員、看護師は医療機関への情報提供を行い継続ケアや早期退院への支援を行っている。お見舞いも頻回に行き連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>○心身面の重度化により医療管理が必要となる予測が立てばご家族の意向を伺い、主治医と一緒に今後の方向性について相談している。ご本人様が最後はどの様に迎えたいかを大切に考え家族、主治医と連携を図っている。</p>	<p>契約時に事業所の方針について説明している。重度化等の場合は主治医・家族と話し合い、家族の意向を確認しながら在宅介護支援診療所の協力を得て支援に取り組んでおり、看取り介護の事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>○緊急時や事故発生に備えマニュアルを作り、誤嚥時の初期対応救急車の要請など定期的に学習している。急変事の対応は看護師や消防署により適時指導を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>○地域の消防署より避難訓練、通報練習、初期消火の実技訓練を年2回受けている。自主訓練も年4回行う。近隣との関係も良好で地域力活用の体制も整う。</p>	<p>消防署立ち会いの避難訓練を年2回、夜間想定で近隣住民の参加を得て実施している。自主訓練も年4回実施し、災害対策用の備品を揃え、緊急通報装置などの点検、非常用の水・食料・インスタント食品等の備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>○利用者を常に人生の先輩として尊敬し誇りやプライバシーを傷つける事の無い様、常に思いやり気配りをして個人に合った声かけをしている。</p>	<p>接遇研修を実施し、トイレや居室での排泄介助時の羞恥心に配慮してタオルを掛けたり、個々に応じた声かけを工夫するなど一人ひとりを尊重した対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>○利用者の自由な意見を尊重、様々な思いを表現出来る様に常に日頃より良い関係が出来ている。表現出来ない方には全職員で言葉をかけ孤独に成らない様に支援。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>○ご利用者の要望やその時の状態に合わせ活動の声かけをしている。日課活動以外にも利用者一人ひとりが自分の好きなように過ごす時間を大切に支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>○皆さんおしゃれでお化粧も大好きです。職員も皆さんが綺麗で元氣でいると嬉しいです。専門職による美容出張サービス、なじみの美容院利用など支援</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>○利用者の毎日の最大の楽しみは食事、調理師手作りで季節の旬の物を取り入れ美味しく作り食べて頂いている。下膳、洗い物はお手伝い出来る方もおり一緒に行っている</p>	<p>厨房で調理した食事を、各ユニットで個々に応じた食事形態にして提供している。食事や片付けを職員と利用者が一緒に行っている。行事食や誕生会・個別処遇での外食等、食べる楽しみを工夫して取り組んでいる。家族と一緒に外食に出かけで好きな物を食べている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>○毎食事量のチェック、形状の工夫や補食の提供等で個別に対応している。水分摂取量のチェック、時間を決めて支援。入浴後はポカリ、お茶の時間はコーヒー等好きなものを飲んで頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>○出来る方には自分でして貰い出来ない方は個人の能力に応じて出来ない部分を支援。新しく歯科衛生士による口腔ケア指導も取り入れて口空内の清潔支援</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>○個々の排泄パターンを把握して職員間で共有トイレでの排泄が出来るように成了った入居者も居ます。尿意便意を伝えられない方には時間毎の排泄支援、適時のおむつ交換をしている。</p>	<p>日中は個々の排泄パターンに応じて個別に声かけて、トイレでの排泄を支援している。夜間は、一人ひとりの状況に応じてポータブルトイレやオムツも使い負担の無いようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	○排便チェック表を利用、便秘による身体への悪影響を看護師より常に学習。水分補給、繊維の多い芋類や野菜、オリゴ糖などをオヤツや食事に取り入れてスムースな排便と医師の指示による緩下剤の使用もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	○週2~3回の入浴日は決めてある。個々の希望に合わせ自由に入浴を出来る方もいる。ほとんどの方が高齢になり介助なしでは出来ない。無理強いしない入浴支援をしている。	週3回の入浴を基本にしているが、希望があればいつでも入浴が可能である。タオルは本人の物を使用している。好きな時間に見守られての入浴や介助を受けての入浴を楽しんでいる。個別処遇で温泉に行く利用者もある。入浴を嫌がる利用者には無理のないように時間をかけて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	○生活のリズムが出来るように昼夜の更衣を支援している。日の様々な活動の中で快い疲れで安眠できるように又適切な室温にも気配りしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○服薬については看護師より適切な助言を貰い名前確認手渡し確実に服用するまで見届ける。病院からの情報、薬局からの情報を職員は確認し目的や副作用など理解するよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>○個人で新聞を購読している方やボラネットへの参加で新幹線での外出、タクシーチケットで美味しい食事への参加など、やがては自分達も送りたいと思われる楽しい生活を過されている方々もいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>○季節の行事、美味しい食べ歩きドライブお買い物などバスで行ったり個別に行ったり時には墓参りなど家族と一緒に行く機会も作り出かけている。個別処遇で食事会も月1回ある。1ユニットのみで出かけることもあり少人数で楽しむ機会をもうけている。</p>	<p>日常的に敷地内の散歩を行っており、地域の行事に出かけたり個別に外出している。ホームの行事で年2回福祉バスを利用し花見等に行ったり、毎月、個別処遇で外食や買い物等、一人ひとりの希望に沿って外出の機会を設けている。家族と墓参りや法事などに出かける利用者もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>○本人の希望、家族の意向でお金を持ち管理されている方も居られる。千円～一万円以内です。皆さんお金の大切な事は充分分かっており無駄使いはしません。買い物は職員同行です。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>○携帯電話を持ち自由に使う方も居ます。お友達に手紙を書き近況を知らせ合って居る方も居ます。電話の利用取り次ぎは自由に出来ます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>○玄関入り口には季節の花が飾られ壁面も季節感を感じられるように利用者と一緒に作成展示、浴室やトイレは常に清潔を心がけ室内には温度湿度計設置。適温を保ち過ごし易い環境を演出、音や光など混乱を招く事の無いように注意を払っている。</p>	<p>ホールは明るく温度湿度計が設置され適度な空調管理がなされている。季節の花が飾られ掃除が行き届いて清潔である。壁に季節感のある手作りの飾り付けがされ行事の写真等も貼られている。落ち着いた雰囲気で居心地良く過ごせるよう配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>○タタミの間には冬はコタツがあり仲間同士で話が弾みます。一人になりたいときは居室でゆっくり過ごされたり職員と思い思いの事を話して過ごされます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>○個人のテレビ、電子ピアノ、携帯電話ラジオなど持込み居心地良く過される方、邪魔になるとほとんどの物をしまい込む方も居ますが本人の満足感が得られれば良しとします。</p>	<p>居室はベッドや洗面台・チェスト・クローゼット等が設置されている。自宅で使い馴れた物や個人の好みに応じてテレビ・ラジオ等を持ち込んだり、位牌や写真を置いている。家具の配置は家族とも相談して、本人が落ち着いて安心して過ごせるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>○自立支援を目標に洗濯物干し茶碗洗い、掃除など一緒に行い感謝の気持ちを伝えております利用者の力に応じ声掛け、寄り添いながら見守りなど常に安全を優先して個別に対応している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない